

フミフレ通信



最終回!

え、フミフレって、最初、○○○○だったの?

気がつけばもう年末、早いもので、2020年も終わろうとしています。今年は本当に大変な1年でした...来年こそは何事もない平和な1年であってほしいものです。

「終わる」と言えば、このフミフレ通信も今回で最終回。SNS全盛のこの時代に、手書きの文字の温もりや返事を待っている時間の楽しさなど、改めて「手紙」の魅力と素晴らしさを伝えるために、この事業がはじまったのが2年前、準備期間を経て昨年4月から、スタートしました。

この1年8ヶ月の間、会員様の間で交わされた手紙は、なんと二万通超え!スゴい数ですね...。フミフレというサービスが会員の皆さまにとって、手紙で「心を通い合わせる」かけがえのない居場所であったのだなあと誇らしく思うのと同時に、続けることができない無念さを感じずにはられません。

私事で恐縮ですが、ワタクシ、文章を書く仕事をしているわけでもなんでもなく、「手紙」に関しても小学生のとき、お年玉ほしさに親戚に書いたきりで、はっきり言って門外漢なのですが、この文章を書く仕事はキライではなかったです。

普段の業務と性質が異なり、新鮮だったというのがありますが、「こんなことを、書いたら怒られるかも」「これは面白いから、是非伝えたい」など読む人のことを考えながら、月2回文章を書くのは、まるで会員の皆さまに「手紙」を送るかのようで楽しかったです。毎回あれやこれや手紙に関する蘊蓄ばかり書いていたくせに、最後になって自分の考えや思いを綴ること=手紙の楽しさを知るとは...赤面の至りであります。

フミフレは「終わり」ますが「文通」が終わるわけではありません。手紙を書く楽しみはこれからもずっと続きます。ささやかながら、このフミフレがそのきっかけになったのであれば、これほど幸せなことはございません。

さて、フミフレという名前ですが、最初「手紙の友倶楽部」というネーミングだったのですが、さすがにそれはダサいだろうということで、手紙=フミと友=フレ(ンド)で「フミフレ」と、軽やかでおしゃれな名前になったということ、最後にご報告いたします。

では、みなさまお元気で!またどこかでお会いしましょう!それでは!

1年8ヶ月の間、たくさんのお手紙
ありがとうございました! フミフレ事務局一同

